

## R6年度入学式(R6年4月2日)告辞

小山工業高等専門学校へようこそ。これまで弛まぬ努力を続け、今日晴れて本校に入学された皆さんを、全教職員は心から歓迎します。また、ここに集う新入生の皆さんをこれまでずっと応援して来られたご家族の方々にも、心よりお祝いを申し上げます。本校を代表しまして、皆さんへ歓迎の挨拶として二つのお話をしたいと思います。

まず一つ目は「学生としての自覚」を持つことについてです。皆さんはこれまで中学校で生徒として学んで来ましたが、今日からは高専生つまり高等専門学校の「学生」となります。同じ高等教育機関である大学生と同じ学生と呼ばれる身分であり、生徒という立場よりは自由である一方、その分だけ自らの行動に責任を持つことが期待されます。本校の教育理念は「技術者である前に人間であれ」です。この理念には専門知識や技量だけを習得すればよいのではなく、責任感や思いやりなど人間性豊かな技術者に成長して欲しいとの願いが込められています。社会から期待される技術的知識や技能はこれから授業や実習等で徐々に身に着けてゆけるように学校が教育や指導を実施して参ります。一方、人間性の面については、それぞれの個性を踏まえて、課外活動や校外での日常生活の場を含め、自主的に自分を高める機会を見つけて磨いて行ってください。若い皆さんはもしかすると新しい環境に初めのうちは気おくれすることがあるかもしれませんが、しかし、初心者であることに恥ずかしがることはありません。むしろ、だからこそ挑戦できるということもあるのです。初めのうちの不安は、今後皆さんにはその分大きく成長する余地があり、より高いポテンシャルを持っている事の証しなのです。また、勉強が進むうちに、中学では成績が上位だったのに順位が下がってしまったという人も出てくるかもしれません。しかし、そもそも皆さんは自分のような優秀な仲間と出会い、切磋琢磨する場として本校を選ばれたのだと思います。皆さんの誰もが社会から期待される選ばれた人材であることを肝に銘じてください。そして、小山高専において、学生として、これから出会うであろう様々な事柄に興味を持ち、挑戦して行ってください。

二つ目のお話は「出会いを大切にすること」についてです。筑波大学名誉教授であった村上和雄先生によると、人を遺伝子レベルで見ると99.9%同じであり、平均的と言われる人と、ものすごく

頭がいい或いは運動ができるという人との違いはわずか 0.1%分にあるのだそうです。また、遺伝子にはその潜在力を活性化するスイッチがあり、0.1%の違いはオンとオフの違いで決まるそうなのです。更に、眠っている遺伝子のスイッチをオンにするには物理的刺激、化学的刺激、更には感動などの精神的な刺激などが有効であり、これらは環境が変わり、新しい人と出会うことでも起こるのです。そう、皆さんがまさにこれから体験しようとしている状況です。小山高専も様々な魅力的刺激であふれていますので、良い遺伝子をオンにするきっかけとなる物事や人物に沢山出会うことでしょう。これから目標を探すという人も、すでに何かの目標を持っている人も、アンテナを張って出会いを敏感に察知してください。小山高専という環境に身を置けることは広い世の中においても皆さんのように才能に恵まれたごくわずかの人だけです。よそでは出会えないようなきっかけを見逃さないように、普段からしっかり目を見張っていきましょう。

以上、学生としての自覚を持つことと、出会いを大切にすることについてのお話でした。気が付けばもう卒業となる日はいずれやって来ます。今日その時に向けて第一歩を踏み出す皆さんを、本校の全教職員は応援して行きます。繰り返しになりますが、皆さん、小山高専へようこそ！

令和6年4月2日

国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

校長 堀憲之